

楽寿会よつくら訪問看護ステーション職員の
新型コロナウイルスへの感染及び今後の対応について（第8報）

本日（1月19日）、第2報で報告しました看護職員と接触のあった利用者様ご家族1名について、新型コロナウイルス検査の結果、陽性であることが確認されました。

その結果、利用者家族が1名増えて、併せて13名となりました。

【経緯】

1月16日までに、在宅系職員3名、利用者様5名、ご家族4名併せて12名が、新型コロナウイルス検査の結果、陽性であることが確認されました。

保健所からの指摘により訪問看護ステーションを中心とするクラスター（集団発生）と認定されました。

また保健所から指示されて検査を実施した接触者のうちで陰性だった方々（職員及び看護師と接触の利用者及び家族）は、クラスター発生となったため、濃厚接触者として2週間の健康観察を続けることになっております。

これに伴い、当法人のサービスにつきまして、第1報に引き続き次のとおり対応させていただきますので、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

また、17日までに、保健所指示対象外であった残り法人全職員、について新型コロナウイルス検査を実施した結果、すべて陰性であることがわかりました。

【特別養護老人ホーム楽寿荘】

通常通りのサービスを継続いたします。新規受入れを当面中止いたします。

【在宅サービス系】

当面の間サービス中止いたします。

利用再開日が決まりましたら改めてご連絡いたします。

※配食サービスに関しては提供を継続いたします。

感染予防を更に徹底して、感染拡大防止に職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年1月19日
社会福祉法人 楽寿会
理事長 木村守和